令和6年度 平塚市地域包括支援センター 事業計画書及び評価表(進捗状況及び活動数値)

1 介護予防ケアマネジメント事業等

(4)今年度の取り組み・重点事項			あさひきた		あさひみなみ		おおすみ		倉田会		ごてん		サンレジ		とよだ		ひらつかにし		富士白苑		ふじみ		まつがおか		みなと		ゆりのき			
高齢者福祉計画	取り組み・重点事項	内容(何を、どのように)	活動指標(実施時期・回数)	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値			
基本目標1「健康で生きがいに満ちた暮らし」 1 健康長寿へのチャレンジ (1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	①通所型サービスCの利用促進と利用後のフォロー	圏域内の対象者に向けて通所型サービスCの利用促進、利用後のフォローを行う。	※参加人数と目標達成状況(及びフォロー状況)が指標。参加は現年度が対象。フォローは過年度も含む。 A:参加3人以上(全員達成且つフォロー) B:参加3人 C:参加1人~2人(達成又はフォローした) D:参加1人(未達成且つフォロー有) E:参加0人(フォロー有) E:参加0人(フォロー無)	順調	【参加人数】 1人	順調	【参加人数】 1人	順調	【参加人数】 1人	順調	【参加人数】 0人	順調	【参加人数】 1人	後期実施予定	【参加人数】 1人	順調	【参加人数】 2人	後期実施予定	【参加人数】 0人	順調	【参加人数】 1人	後期実施予定	【参加人数】 0人	順調	【参加人数】 1人	順調	【参加人数】 2人	順調	【参加人数】 2人	
	①高齢者の状況に応じた適切なケアマネジメントを行う。	要支援者等に対するアセスメントを行い、その状態や置かれている環境等に応じて、本人が自立した生活を送ることができるようなケアプランを作成し、利用するサービスを選択する。必要に応じたモニタリングにより、サービス利用者の状態を把握、ケアプラン期間終了後に評価を行う。	※委託先の適切な介護予防ケアマネジメントとして、担当者会議への出席率が指標(書面含む) A:担当者会議への対面での出席率80%~100% B:担当者会議への対面での出席率70%~80% C:担当者会議への出席が書面を含め80~100% D:担当者会議への出席が書面を含め80%未満 E:担当者会議への出席が書面を含め50%以下	順調	【委託先担当者会議への出席率】 100%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 92%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 87%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 66.6%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 100%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 100%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 64%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 (対面で)50~60%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 89% 担当者会議開催47件 出席・・・42件 書面・・・5件	順調	【委託先担当者会議への出席率】 100%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 100%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 100%	順調	【委託先担当者会議への出席率】 86%	
	(2)地域で取り組む健康チャレンジ																													
	ア 健康チャレンジ高齢者把握事業	③基本チェックリストの実施による健康増進や閉じこもりの防止	基本チェックリストを実施し、健康増進や閉じこもりの防止につなげる。また、フレイルチェックなどの取組とも連動させながら実施し、基本チェックリストの結果を踏まえ、適切なサービス案内や情報提供を行う。	※基本チェックリストの新規の実施人数が指標 A:例年より大きな実績をあげた B:例年より実績をあげた C:例年並み、または計画どおりに実施した D:例年、または計画をやや下回る E:実施できなかった	順調	【新規の実施人数】 27人	順調	【新規の実施人数】 36人	順調	【新規の実施人数】 21人	順調	【新規の実施人数】 31人	順調	【新規の実施人数】 31人	順調	【新規の実施人数】 51人	順調	【新規の実施人数】 18人	順調	【新規の実施人数】 31人	順調	【新規の実施人数】 49人	順調	【新規の実施人数】 53人	順調	【新規の実施人数】 20人	遅れ	【新規の実施人数】 19人	順調	【新規の実施人数】 60人
	エ 健康チャレンジ普及啓発事業	④介護予防、健康長寿の講座等の開催	高齢者の健康増進、フレイル予防に関する講話・講演会を各包括専門職の視点や、地域の薬局、サポート医等の地域資源との連携等により開催する。	※講話・講演会の開催回数が指標 A:年5回以上 B:年3回以上 C:年2回(例年並) D:年1回 E:年0回	順調	【講話・講演会の開催回数】 1回	順調	【講話・講演会の開催回数】 2回	順調	【講話・講演会の開催回数】 5回	順調	【講話・講演会の開催回数】 1回	順調	【講話・講演会の開催回数】 2回	後期実施予定	【講話・講演会の開催回数】 0回	順調	【講話・講演会の開催回数】 1回	順調	【講話・講演会の開催回数】 5回	順調	【講話・講演会の開催回数】 2回	順調	【講話・講演会の開催回数】 2回	順調	【講話・講演会の開催回数】 6回	順調	【講話・講演会の開催回数】 1回	順調	【講話・講演会の開催回数】 7回
	オ 健康チャレンジに取り組むための通いの場(サロン)等の開催支援	⑤通いの場(サロン)等へのフレイル予防の普及啓発(地域のリハビリ専門職の関与を含む)	圏域内の通いの場(サロン)等の団体に向けて、フレイル予防に関する助言等の支援を行う。(地域のリハビリ専門職の関与を含む)	※助言等の支援回数が指標 A:年12回以上実施かつ地域のリハビリ専門職と連携(1団体以上) B:年13回以上実施 C:年12回実施 D:年0~11回実施 E:年4回以下に実施	遅れ	【支援回数】 3回	順調	【支援回数】 12回	順調	【支援回数】 16回	順調	【支援回数】 13回	順調	【支援回数】 16回	順調	【支援回数】 24回	順調	【支援回数】 13回	順調	【支援回数】 27回	順調	【支援回数】 8回	順調	【支援回数】 15回	順調	【支援回数】 9回	順調	【支援回数】 7回	順調	【支援回数】 5回
	コ フレイル対策推進事業	⑥センター企画によるフレイルチェック測定会の開催	「栄養(食・口腔)・運動・社会参加」をテーマに、フレイルを「知る」「気づく」「予防・改善する」という3つの観点からフレイルチェック測定会を展開することで、自身の状態の見える化を図り、フレイル予防のための行動変容につなげていきます。	※フレイルチェック開催回数が指標 A:年3回以上実施 B:年2回実施 C:年1回実施 D:企画したが未実施 E:企画しなかった	順調	【フレイルチェックの開催回数】 0回	順調	【フレイルチェックの開催回数】 1回	順調	【フレイルチェックの開催回数】 1回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回	順調	【フレイルチェックの開催回数】 1回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回	順調	【フレイルチェックの開催回数】 1回	順調	【フレイルチェックの開催回数】 0回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回	後期実施予定	【フレイルチェックの開催回数】 0回
ソ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	⑦フレイルハイリスク者への介護予防と必要な方へのサービス調整	①市の後期高齢者健康診査やフレイルチェック測定結果等からハイリスク傾向の高齢者に対し、社会参加の促進やフレイルチェックへの参加勧奨等の支援を行う。また必要な方へサービス調整を行う。 ②新たな取組みとして健康状態不明者の把握について市と連携した取り組みを行う(可能な包括から実施)。	※対象者に対する把握率で評価 A:80%以上 B:61~79% C:30~60% D:30~49% E:30%未満	後期実施予定	【把握率】 0%	順調	【把握率】 100%	順調	【把握率】 100%	順調	【把握率】 100%	順調	【把握率】 67%	後期実施予定	【把握率】 33%	後期実施予定	【把握率】 100%	順調	【把握率】 100%	順調	【把握率】 100%	順調	【把握率】 100%	順調	【把握率】 100%	後期実施予定	【把握率】 0%	順調	【把握率】 100%	

2 総合相談支援業務等

(4)今年度の取り組み・重点事項				あさひきた		あさひみなみ		おおすみ		倉田会		ごてん		サンレジ		とよだ		ひらつかにし		富士白苑		ふじみ		まつがおか		みなと		ゆりのき	
高齢者福祉計画	取り組み・重点事項	内容(何を、どのように)	活動指標 (実施時期・回数)	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値										
基本目標2 住み慣れた地域で安心のある生活 2 地域ネットワークの充実	①センターの認知度の向上を図る。	センターの認知度の向上をさせるために、広報誌を作り、自治会に回覧したり、ちいき情報局にのせたり、地域の人が60人以上集まるイベント(公民館祭り等)に参加して宣伝するなどして、認知度向上に努めます。また、SNS等の活用を検討します。	※広報誌の配布、地域の人が60人以上集まるイベントへの参加及びSNS等の活用が指標 A:5回以上実施に加え、SNS等を活用 B:3回以上実施 C:2回実施 D:1回実施 E:実施なし	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 7回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 1回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 8回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 4回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 17回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 3回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 8回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 7回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 3回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 8回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 108回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 17回	順調	【広報誌の配布、イベントへの参加回数、SNS等の活用の合計】 3回
	②多様化する相談内容に対応できる体制づくりをする。	高齢化に伴う相談件数の増加及び相談内容の多様化に対応するため、センター内の体制を整備します。	※相談体制の整備状況が指標 A:①②③を実施(ケースを全て共有の場合) B:①②③を実施(必要なケースのみ共有の場合) C:①②を実施 D:①のみ実施 E:実施できていない。	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-								
	(1)高齢者よろず相談センターの機能強化 ③センター職員のスキルアップを行う。	平塚市(または在宅医療・介護連携支援センター)が開催するセンター向け研修会等に参加し、相談者を支援する上で必要な知識を学び、センター職員のスキルアップを行います。	※研修の参加状況が指標 A:①②に出席し、さらに③を年12回(毎月1回)以上 B:①②に出席し、さらに③を年4回以上 C:①②に出席し、さらに③を年1回以上 D:①か②に出席または出席していない。	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-								
	④BCP研修と訓練により、業務継続と安全確保の体制を構築する。	センターの安全性確保及びリスクマネジメントの推進のため、年1回の訓練を繰り返すことで、センター職員全員にBCPを定着させると共に、BCPを評価し改善します。	※訓練の実施状況、BCPの評価改善が指標 A:訓練2回実施(BCPの評価改善あり) B:訓練1回実施(BCPの評価改善あり) C:訓練1回実施(BCPの評価改善なし) D:訓練実施なし(BCPの評価改善あり) E:訓練実施なし(BCPの評価改善なし)	順調	【訓練の実施回数】 1回	順調	【訓練の実施回数】 2回	後期実施予定	【訓練の実施回数】 0回	完了	【訓練の実施回数】 1回	後期実施予定	【訓練の実施回数】 1回	順調	【訓練の実施回数】 1回	順調	【訓練の実施回数】 2回	順調	【訓練の実施回数】 2回	順調	【訓練の実施回数】 1回	順調	【訓練の実施回数】 1回	順調	【訓練の実施回数】 2回	順調	【訓練の実施回数】 3回	後期実施予定	【訓練の実施回数】 0回
3 医療・介護連携の推進 (1)医療・介護連携推進のための支援(医療と介護の連携を深めることにより在宅ケアを推進する。)	⑤かかりつけ医療機関をもつことを推進する。	在宅医療や介護についてかかりつけ医療機関をもつことの大切さを伝えるため、サポート医、歯科、薬局等を通じてリーフレット等を配布することで、市民にかかりつけ医療機関をもつことを推進します。	※リーフレットの圏域内の配布か所の数が指標 A:34か所以上(約100%) B:27か所以上(約80%) C:17か所以上(約50%) D:8か所以上(約25%) E:1か所以上	順調	【配布箇所数】 14か所	完了	【配布箇所数】 12か所	後期実施予定	【配布箇所数】 3か所	順調	【配布箇所数】 21か所	順調	【配布箇所数】 24か所	後期実施予定	【配布箇所数】 0か所	後期実施予定	【配布箇所数】 0か所	順調	【配布箇所数】 17か所	完了	【配布箇所数】 54か所	順調	【配布箇所数】 15か所	順調	【配布箇所数】 9か所	順調	【配布箇所数】 0か所	順調	【配布箇所数】 28か所

3 権利擁護事業等

(4)今年度の取り組み・重点事項				あさひきた		あさひみなみ		おおすみ		倉田会		ごてん		サンレジ		とよだ		ひらつかにし		富士白苑		ふじみ		まつがおか		みなと		ゆりのき			
高齢者福祉計画	取り組み・重点事項	内容(何を、どのように)	活動指標 (実施時期・回数)	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値	ア 進捗状況	イ 活動数値		
4 認知症支援策の推進	(1)認知症理解のための普及・啓発	①市民、企業、学校向け認知症サポーター養成講座等の普及啓発と認知症の方本人からの情報発信支援	※養成講座の開催状況が指標 A:市民、企業、学校向け全て開催 B:市民向けと、企業又は学校のいずれかを開催 C:市民向けを開催し、企業6社以上と学校に協働 D:市民向けを開催 E:開催なし	順調	-	順調	-	順調	-	順調	市民向け2回 企業向け3回 学校1回	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	後期実施予定	-
		②チームオレンジメンバーの活動支援	※研修の開催状況とチームオレンジの活用が指標 ※マッチングリストとは、認知症本人の希望と、支援者ができること両方をリスト化したものとする。 A:1回以上開催し、マッチングリストB:2回以上開催し、マッチングリストを作成し、マッチングリストを作成 C:1回開催 D:開催なし(周知あり) E:開催なし(周知なし)	後期実施予定	【研修の開催回数】 0回	順調	【研修の開催回数】 1回	順調	【研修の開催回数】 1回	順調	【研修の開催回数】 1回	順調	【研修の開催回数】 1回	順調	【研修の開催回数】 1回	順調	【研修の開催回数】 0回	後期実施予定	【研修の開催回数】 0回	後期実施予定	【研修の開催回数】 0回	後期実施予定	【研修の開催回数】 0回	順調	【研修の開催回数】 0回	後期実施予定	【研修の開催回数】 0回	順調	【研修の開催回数】 0回	順調	【研修の開催回数】 1回
	(2)認知症予防施策の充実	③身近な場での認知症予防教室の開催	※予防教室の開催が指標 A:予防教室を6回以上開催し、幅広いきき講座受講者の半数以上の参加があった。 B:予防教室を6回以上開催し、幅広いきき講座受講者の半数未満の参加があった。 C:予防教室を6回以上開催 D:予防教室を6回未満開催 E:開催なし	順調	【予防教室の開催回数】 5回	順調	【予防教室の開催回数】 3回	順調	【予防教室の開催回数】 21回	順調	【予防教室の開催回数】 15回	順調	【予防教室の開催回数】 15回	順調	【予防教室の開催回数】 3回	順調	【予防教室の開催回数】 12回	順調	【予防教室の開催回数】 10回	順調	【予防教室の開催回数】 12回	順調	【予防教室の開催回数】 3回	順調	【予防教室の開催回数】 48回	順調	【予防教室の開催回数】 6回	順調	【予防教室の開催回数】 6回	後期実施予定	【予防教室の開催回数】 2回
		④認知症地域推進員による認知症ケアパス等を用いた専門的な相談支援(若年性を含む)	※相談人数に対するネットワークに繋がった人数が指標 A:相談人数12人のうち70%程度ネットワークに繋がった人数であった。 B:相談人数12人のうち50%程度ネットワークに繋がった人数であった。 C:相談人数12人のうち30%程度ネットワークに繋がった人数であった。 D:相談のみ E:相談なし	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 71%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 85.7% (地域版は反映していない)	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 0%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 74.7%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 100%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 43%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 100%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 30.7%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 42%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 34%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 99%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 49%	順調	【相談者のうちネットワークに繋がった割合】 70%		
	(3)認知症に対する早期対応体制の整備(認知症の早期発見、早期対応のための仕組みづくり)	⑤認知症初期集中支援事業の推進	※選定ケース提出数が指標 A:2人 B:1人 C:0人(相談のみ) D:0人(後計あり) E:0人(後計なし)	後期実施予定	【選定ケース提出数】 0人	順調	【選定ケース提出数】 1人	遅れ	【選定ケース提出数】 0人	順調	【選定ケース提出数】 1人 【相談ケース提出数】 3人	後期実施予定	【選定ケース提出数】 0人	順調	【選定ケース提出数】 3人	順調	【選定ケース提出数】 2人	遅れ	【選定ケース提出数】 0人	後期実施予定	【選定ケース提出数】 0人	順調	【選定ケース提出数】 1人	順調	【選定ケース提出数】 0人	後期実施予定	【選定ケース提出数】 0人	順調	【選定ケース提出数】 0人	後期実施予定	【選定ケース提出数】 0人
		⑥認知機能低下を把握するための認知機能評価機器の活用	※圏域内の高齢者に対する実施状況が指標 A:100人実施 B:80人実施 C:60人実施 D:40人実施 E:40人未満	順調	【新規と継続の合計人数】 36人	順調	【新規と継続の合計人数】 83人	順調	【新規と継続の合計人数】 47人	順調	【新規と継続の合計人数】 31人	順調	【新規と継続の合計人数】 23人	順調	【新規と継続の合計人数】 44人	順調	【新規と継続の合計人数】 80人	順調	【新規と継続の合計人数】 42人	順調	【新規と継続の合計人数】 28人	順調	【新規と継続の合計人数】 19人	順調	【新規と継続の合計人数】 69人	順調	【新規と継続の合計人数】 36人	後期実施予定	【新規と継続の合計人数】 12人		
(4)認知症高齢者の見守り支援	⑦認知症カフェの開催と支援	※認知症カフェの開催または支援回数が指標 A:開催と支援の回数12回以上 B:開催と支援の回数6回以上 C:開催と支援の回数3回以上 D:開催と支援の回数3回未満 E:開催も支援もなし	順調	【開催と支援の合計数】 7回	順調	【開催と支援の合計数】 6回	順調	【開催と支援の合計数】 6回	順調	【開催と支援の合計数】 10回	順調	【開催と支援の合計数】 2回	順調	【開催と支援の合計数】 10回	順調	【開催と支援の合計数】 28回	順調	【開催と支援の合計数】 12回	順調	【開催と支援の合計数】 3回	順調	【開催と支援の合計数】 137回	順調	【開催と支援の合計数】 8回	順調	【開催と支援の合計数】 9回					
基本目標3 いのちと権利を見守る地域社会																															
5 孤立死の防止に向けた取組の充実	⑧重層的な問題も含め、生活上の不安を抱える高齢者への訪問や見守り体制強化	①課題が複雑化・複合化しているもの等は、様々な機関や手法を活用した連携方法を検討します。	※取り組み内容(成果)が指標 A:例年より大きな実績をあげた。新たな取り組みが成果をあげた。 B:例年より実績をあげた。新たな取り組みを実施。 C:例年並み、または計画どおりに実施。 D:例年、または計画をやや下回る。 E:実施できなかった。	順調	-	順調	-	順調	-	後期実施予定	-	順調	-	順調	-	順調	-	後期実施予定	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-
		②ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は増加傾向にあることから、孤立死の防止に向け、地域における安否確認や見守り体制の強化を行う。																													
6 権利擁護事業の充実 ①日常を支える権利擁護事業の推進	⑨権利擁護のための相談支援及び普及啓発	日常生活について権利擁護事業による支援を必要とする方に対して成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用や成年後見利用支援センターの活用等を促し、その生活を支援します。	※普及啓発の内容、制度利用実績が指標 A:制度の利用1人以上。 B:新たな普及啓発を実施。 C:制度の案内1人以上。 D:制度、または計画をやや下回る。 E:実施できなかった。	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-
		⑩自分らしい人生の締めくくりを迎えるための活動(終活)支援	※終活講座、講話が指標 A:年3回以上実施。 B:年2回実施。 C:年1回実施。 D:ノート等の配布のみ。 E:実施できなかった。	後期実施予定	【終活講座、講話の回数】 0回	順調	【終活講座、講話の回数】 0回	後期実施予定	【終活講座、講話の回数】 0回	順調	【終活講座、講話の回数】 2回	順調	【終活講座、講話の回数】 2回	順調	【終活講座、講話の回数】 1回	順調	【終活講座、講話の回数】 7回	順調	【終活講座、講話の回数】 1回	順調	【終活講座、講話の回数】 1回	後期実施予定	【終活講座、講話の回数】 0回	順調	【終活講座、講話の回数】 2回	後期実施予定	【終活講座、講話の回数】 0回	順調	【終活講座、講話の回数】 2回		
②高齢者虐待を予防し、早期発見・早期対応に努める。	⑪高齢者虐待の予防、早期発見のための講話等による普及啓発をする。	高齢者虐待の予防、早期発見をするために市民、関係機関、施設従事者等を対象とし、積極的に普及啓発を実施していきます。	※普及啓発の回数が指標 A:年4回以上実施。 B:年2~3回実施。 C:年1回実施。 D:資料等の配布のみ。 E:実施できなかった。	順調	【普及啓発の回数】 1回	順調	【普及啓発の回数】 2回	完了	【普及啓発の回数】 4回	順調	【普及啓発の回数】 2回	順調	【普及啓発の回数】 3回	後期実施予定	【普及啓発の回数】 1回	順調	【普及啓発の回数】 13回	順調	【普及啓発の回数】 1回	順調	【普及啓発の回数】 3回	順調	【普及啓発の回数】 1回	順調	【普及啓発の回数】 3回	順調	【普及啓発の回数】 1回	順調	【普及啓発の回数】 4回		
		⑫高齢者虐待対応マニュアルに基づく相談対応を、事例検討をする。	※高齢者虐待対応マニュアルに基づく相談対応が指標 A:困難ケースを適切に対応。 B:虐待ケースを適切に対応。 C:相談対応を実施。 D:相談対応が難航。 E:実施できなかった。	順調	-	順調	-	後期実施予定	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	後期実施予定	-	順調	-	遅れ	-	順調	-	順調	-
7 災害に対する取組の推進	⑬避難行動要支援者制度の周知、地域との連携強化	避難行動要支援者支援制度の周知啓発・登録の推進、マッチング車向上・避難支援等関係者との連携強化を通して、避難行動要支援者の取組の効率的向上と安心安全の確保を図ります。	※取り組み内容(成果)が指標 A:①または②に加え、③を実施。 B:①②を実施。 C:③を実施。 D:チラシ等の窓口配架のみ実施。 E:実施できなかった。	後期実施予定	-	後期実施予定	-	順調	-	後期実施予定	-	遅れ	-	後期実施予定	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	後期実施予定	-	後期実施予定	-	後期実施予定	-

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等

(4) 今年度の取り組み・重点事項				あさひきた		あさひみなみ		おおすみ		倉田会		ごてん		サンレジ		とよだ		ひらつかにし		富士白苑		ふじみ		まつがおか		みなと		ゆりのき			
高齢者福祉計画	取り組み・重点事項	内容(何を、どのように)	活動指標 (実施時期・回数)	ア 進捗状況	イ 活動数値																										
基本目標2-1ネットワークの充実 (1) 高齢者よる相談センターの機能強化 イ ケアマネジャーとの連携強化の支援 (2) 地域資源との連携強化 (地域のネットワークの構築・支援等を行う。) (A) 地域ケア会議の開催 (B) 協議体の開催 (C) 地域資源と関係構築	① ケアマネジャーへの支援を行う。	ケアマネジャーからの個別相談に対し、必要に応じた情報提供、助言、同行訪問等の後方支援を行う。	※支援の要人数が指標 A: 例年より大きな実績をあげた B: 例年より実績をあげた C: 例年並み、または計画どおりに実施した D: 例年、または計画をやや下回る E: 支援できなかった	順調	【個別相談支援の件数】 15件 【同行訪問等の件数】 8件	順調	【個別相談支援の件数】 10件 【同行訪問等の件数】 7件	順調	【個別相談支援の件数】 6件 【同行訪問等の件数】 2件	順調	【個別相談支援の件数】 5件 【同行訪問等の件数】 2件	順調	【個別相談支援の件数】 70件 【同行訪問等の件数】 5件	順調	【個別相談支援の件数】 11件 【同行訪問等の件数】 15件	順調	【個別相談支援の件数】 10件 【同行訪問等の件数】 5件	順調	【個別相談支援の件数】 10件 【同行訪問等の件数】 7件	順調	【個別相談支援の件数】 10件 【同行訪問等の件数】 8件	順調	【個別相談支援の件数】 16件 【同行訪問等の件数】 11件	順調	【個別相談支援の件数】 19件 【同行訪問等の件数】 15件	順調	【個別相談支援の件数】 18件 【同行訪問等の件数】 2件	順調	【個別相談支援の件数】 9件 【同行訪問等の件数】 3件		
	② 地域ケア会議等を開催し、個人や地域の課題を把握し解決を図る。	高齢者個人の課題解決及び、地域特有の課題解決を図るための会議を開催します。	※小地域ケア会議の開催数が指標 A: 小地域2回以上、個別地域1回以上 B: 小地域1回、個別地域1回 C: 小地域1回、個別地域0回 D: 開催なし(調整はあり) E: 開催なし(調整はなし)	遅れ	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 0回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 4回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 0回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 3回	後期実施予定	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 3回	後期実施予定	【小地域ケア会議の開催数】 0回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回	後期実施予定	【小地域ケア会議の開催数】 0回 【個別地域ケア会議の開催数】 2回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 2回 【個別地域ケア会議の開催数】 0回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 1回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回	順調	【小地域ケア会議の開催数】 4回 【個別地域ケア会議の開催数】 1回		
	③ 第2層地域協議体の開催を支援し、地域のネットワークを構築する。	それぞれの地域で特性に合った課題について自主的な取組で解決できる仕組みを、多様な主体が連携を図りながら構築していきます。センターが地域で開催する協議体への参加、開催支援すると共に、地域の住民が自らの意思で支え合い、助け合う仕組みづくりに取り組みます。	※第2層地域協議体への参加、開催支援が指標 A: 3回以上参加 B: 2回参加 C: 1回参加(または開催の動きかけ) D: 参加なし(開催の検討) E: 参加なし	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 1回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 4回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 1回	後期実施予定	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 0回	後期実施予定	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 0回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 1回	遅れ	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 0回	後期実施予定	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 2回	後期実施予定	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 2回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 2回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 1回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 1回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 1回	順調	【第2層地域協議体への参加、開催支援の回数】 4回
	④ 地域資源と良い関係を構築する。	地域資源(医療・介護・福祉の機関、自治会、地区社協、民児協、市民活動団体、地元企業等)と良い関係を構築する。	※地域資源との関わり方(ネットワーク、マッチング)が指標 A: 例年以上(新たな資源への動きかけ、かつ具体的な連携事業の開始等) B: 例年以上(新たな資源へ動きかけ) C: 例年並み D: 例年以下(会合等へ参加あり) E: 例年以下(会合等へ参加なし)	順調	-	順調	-	順調	-	順調	-	後期実施予定	-	順調	-	後期実施予定	-	順調	-												